



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2016

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

平成 28 年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長

坂井 修一

東京大学



情報・システムソサイエティ(ISS)は、コンピュータによる情報処理技術、コンピュータ・通信・人間を融合したシステム化技術に関する基礎から応用までの分野を研究領域としています。会員に研究発表と交流の場を提供するとともに、情報技術分野の持続的な発展に貢献しています。ISS が同研究分野の日本での中心的活動母体であり続けるだけでなく、情報社会の健全な発展に貢献していくために、平成 28 年度は、中長期計画に従って、以下の諸点に重点を置いて活動を展開していきます。

(1) 研究プロセスに応じた研究資料の公表方法支援策

○新しい時代に相応しい論文誌の検討

和英論文誌では、受賞論文、サーベイ論文等のオープン化を開始しました。今年度は、論文誌全体の公開をめざした検討を進めます。さらに、常任査読委員の早期推薦制度、キーワード見直し、研究専門委員会との連携による特集号の充実、別刷辞退オプション普及による省資源化、100 周年懸賞論文のタイトル決定などを行います。

○研究会のあり方と活性化

技報への掲載が既発表とみなされる問題に対して、①梗概相当だけで発表できる方式の採用、②一定期間技報の原稿を非公開とし、非公開文書であることに承諾した人だけが原稿にアクセスできるサービスの 2 つを検討しています。

また、研究会の活性化、国際会議の開催などをより効果的に行うために、研究専門委員会、技術会議、運営幹事会との連携を深め、相互に支援できる体制を強化します。これに加えて、研究会相互の情報交流の促進、各研究会活動の見える化、研究会間での情報共有が可能な方策の検討を深めます。また、補助金の効率的な運用についても精査・検討いたします。さらに、各研究専門委員会の活動の評価を行い、活性化資金の運用を技術会議で行えるような仕組みを検討します。また、活動の見える化のため、過去

の研究会開催件数と投稿件数などを Web に掲載するなどする予定です。

○総合大会、FIT の位置づけと活性化

FIT の体制の見直し、収益力向上をめざした企画の見直しを行い、大胆な改革を行っているところで、総合大会の ISS 企画である学生ポスターセッションは盛況ですが、優秀ポスター賞も、より客観的な選定になるよう工夫を重ねます。

○ソサイエティ誌の活性化

ソサイエティ内活動の紹介に加え、ソサイエティ外活動の紹介も充実させます。また、J-Stage へ掲載することで、広く活動を紹介します。

○I-Scover への対応

I-Scover 構築に関しては、費用対効果を精査しながら貢献をはかっていきます。

(2) 社会的課題に対する情報発信

技術者集団として政府の行うパブコメに積極的に意見を述べるだけでなく、社会課題に対する意見を公表する仕組みを作ってゆきます。

(3) 会員サービスの充実

日本語・英語 Web ページの更改を継続することにより、会員への情報発信を強化し、会員サービス増強の努力を続けます。コミュニケーション委員会と連携して、ホームページ作成の外注や、その更新体制の効率化と強化も検討します。

(4) ISS の運営体制の強化

運営幹事会の定期的開催により、各活動に対するグローバルな議論や、その費用対効果などの検討を行い、ISS の運営の強化を図っていきます。また、ISS の活動全般において、収益力の向上を意識した活動を目指します。

情報・システムソサイエティ(ISS)では、以上のような活動を積極的に進めていきますので、会員の皆様のご協力とご理解を、宜しくお願いいたします。

情報・システムソサイエティ誌とは？

情報・システムソサイエティが1996年度より年4回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著

名な方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

ISS 達人へのステップ 1

情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では1995年4月よりソサイエティ制になり、会員はいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひISSに御登録下さい。なお、複数に登録する場合のISSソサイエティ

誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は3,500円(学生は2,000円)です。ISSへの追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかにISSの様々な特典が利用できます。また、ISS論文誌を購読する場合はステップ2を参照して下さい。

ISS 達人へのステップ 2

情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英2種類

基本登録でオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。追加登録を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌D及び英文論文誌Dのキーワードは下記のとおりです。

キーワード：

情報・システム基礎／計算機システム／ソフトウェアシステム／ソフトウェア工学／データ工学、Web情報システム／情報ネットワーク／ディペンダブルコンピューティング／人工知能、データマイニング／ヒューマンコンピュータインタラクション／オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング／教育工学／福祉工学

パターン認識／音声、聴覚／画像・映像処理／画像認識、コンピュータビジョン／コンピュータグラフィックス／マルチメディア処理／自然言語処理／バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング／生体工学／音楽情報処理／感性情報処理

連絡先： E-mail: service@ieice.org Phone: 03-3433-6691 Fax: 03-3433-6659

名前 (会員番号)
所属
連絡先 〒
Phone: Fax: E-mail:
□ISSソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

*なお、オンラインジャーナルの閲覧は登録処理後からとなります。

ISS 達人へのステップ3

情報・システムソサイエティ (ISS) 所属研究会の年間登録を

ISS には下記の 23 の第一種研究会があり、年間数回の研究会にあわせその技術研究報告書が出版されています。年間登録を行うと各回の技術研究報告書が送付され、毎回会場で購入するよりも安価になります。ぜひ御登録をお薦めします。本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuuhoukoku.html>) より御登録下さい。

なお、各研究会の研究分野の詳細については <http://www.ieice.org/jpn/kensenmon4.html> を御覧下さい。

研究会 (記号)	予約価(円)	委員長/副委員長
ME とバイオサイバネティクス MBE	11,772	小林 哲生(京大) 福岡 豊(工学院大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム LOIS	15,012	岡本 学(NTT) 西 宏之(崇城大)
画像工学 IE	14,364	高村 誠之(NTT) 市ヶ谷 敦郎(NHK), 浜本 隆之(東京理科大)
言語理解とコミュニケーション NLC	6,156	竹内 孔一(岡山大) 金山 博(日本 IBM), 市瀬 眞(NTTドコモ)
コンピュータシステム CPSY	18,360	中島 康彦(奈良先端大) 入江 英嗣(東大), 中野 浩嗣(広島大)
コンピュータシオン COMP	10,152	和田 幸一(法政大) 増澤 利光(阪大)
人工知能と知識処理 AI	4,644	菅原 俊治(早大) 峯 恒憲(九大), 片上 大輔(東京工芸大)
ソフトウェアサイエンス SS	10,476	結縁 祥治(名大) 緒方 和博(北陸先端大)
データ工学 DE	4,428	小口 正人(お茶の水大) 鬼塚 真(阪大), 豊田 正史(東大)
パターン認識・メディア理解 PRMU	10,800	前田 英作(NTT) 内田 誠一(九大), 仙田 修司(NEC)
ディペンダブルコンピューティング DC	12,744	金川 信康(日立) 井上 美智子(奈良先端大)
ニューロコンピューティング NC	12,096	斎藤 利通(法政大) 佐藤 茂雄(東北大学)
知能ソフトウェア工学 KBSE	8,208	飯島 正(慶大) 金田 重郎(同志社大)
音声 SP	10,800	間野 一則(芝浦工大) 北岡 教英(徳島大)
教育工学 ET	8,316	松原 行宏(広島市立大) 小尻 智子(関西大)
医用画像 MI	15,660	増谷 佳孝(広島市立大) 木村 裕一(近畿大), 河田 佳樹(徳島大)
ソフトウェアインタプライズモデリング SWIM	5,508	須栗 裕樹(宮城大) 宇田川 佳久(東京工芸大)
リコンフィギュラブルシステム RECONF	7,776	渡邊 実(静岡大) 柴田 裕一郎(長崎大), 本村 真人(北大)
情報通信システムセキュリティ ICSS	11,664	三宅 優(KDDI 研) 西出 隆志(筑波大), 白石 善明(神戸大)
情報論的学習理論と機械学習 IBISML	9,612	鷲尾 隆(阪大) 福水 健次(統計数理研), 杉山 将(東大)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント EMM	17,064	伊藤 彰則(東北大) 川村 正樹(山口大), 鶴木 祐史(北陸先端大)
クラウドネットワークロボット CNR	11,880	今井 倫太(慶大) 宮下 敬宏(ATR), 神原 誠之(奈良先端大)
サービスコンピューティング SC	5,724	細野 繁(NEC) 白 寅天(会津大)

FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 発表募集案内



【会期】2016年9月7日(水)～9日(金)

【会場】富山大学 五福キャンパス (富山市五福 3190)

FIT2016 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/>

FIT 査読付き論文受付期間：2016年3月2日(水)～4月13日(水)

FIT 一般論文 受付期間：2016年4月20日(水)～5月19日(木)

電子情報通信学会 情報・システムサイエティは、本学会のヒューマンコミュニケーショングループならびに情報処理学会と 2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2016年9月に第15回目を富山大学で開催します。

論文の種類には、「査読付き論文」と「一般論文」がございます。「査読付き論文」の中から、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞を選定し、表彰します。また、論文の種類に関わらず、若手研究者を対象に優れた発表を選定し、FIT ヤングリサーチャー賞として表彰します。これらの賞に加え、FIT2013 より FIT 奨励賞を創設致しました。

また、FIT2009 より「査読付き論文」について優秀な論文を電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度を設けております。最大ページ数を論文誌(フルペーパー)と同等の 8 ページ程度まで広げて、「査読付き論文」の申込と併せて「論文誌への推薦希望」も受付致します。みなさま是非ともチャレンジして下さい。

【FIT 論文表彰制度】

船井ベストペーパー賞	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(3件)。賞金は 20 万円です。
FIT 論文賞	査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(数件)。賞金は 5 万円です。
FIT ヤングリサーチャー賞	当該 FIT 開催年の 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)の中から、特に優れた発表をされた方が選ばれます。賞金は 3 万円です。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定します(該当なしもあり)。受賞者には、FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈します。

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表の場を提供いたします。奮って御応募下さい。

○● 電子情報通信学会 情報・システムサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長 (編集会議担当)
- 山名 早人 (早大 yamana@acm.org)
- 編集委員長
- 門田 啓 (NEC a-monden@bk.jp.nec.com)
- 編集幹事
- 坪下 幸寛 (富士ゼロックス Yukihiro.Tsuboshita@fujixeroc.co.jp)
- 篠崎 隆宏 (東工大 shinot@ip.titech.ac.jp)
- 特任編集幹事
- 菅谷 史昭 (KDDI 研 fsugaya@kddilabs.jp)
- 松居 辰則 (早大 matsui-t@waseda.jp)
- 松井 知子 (統数研 tmatsui@ism.ac.jp)
- 山川 宏 (ドウゴ hiroshi.yamakawa@dwango.co.jp)
- 宮崎 修一 (京大 shuichi@media.kyoto-u.ac.jp)
- 西脇 大輔 (NEC d_nishiwaki@da.jp.nec.com)
- 神原 誠之 (奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 企画広報幹事
- 秋山 達勇 (NEC t-akiyama@df.jp.nec.com)
- 和文論文誌編集副委員長
- 潮田 明 (Japio akira_ushioda@japio.or.jp)
- 英文論文誌編集幹事
- 山下 達彦 (東工大 yamashita@ide.titech.ac.jp)
- 編集委員
- 堀瀬 友貴 (東京女子医大 horise.yuki@twmu.ac.jp)
- 藤村 考 (大妻女子大 fujimura@otsuma.ac.jp)
- 河村 圭 (KDDI 研 kei@kddilabs.jp)
- 榎 剛史 (ホットリンク/東大 t.sakaki@hottolink.co.jp)
- 天野 英晴 (慶応大 hunga@am.ics.keio.ac.jp)
- 内澤 啓 (山形大 uchizawa@yz.yamagata-u.ac.jp)
- 八旗 博史 (東京電機大 yamakih@mail.dendai.ac.jp)
- 小林 隆志 (東工大 tkobaya@cs.titech.ac.jp)
- 大塚 真吾 (神奈川工科大 otsuka@ic.kanagawa-it.ac.jp)
- 三好 利昇 (日立 toshinori.miyoshi.pd@hitachi.com)
- 金子 晴彦 (東工大 hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)
- 黒柳 奨 (名工大 bw@nitech.ac.jp)
- 青木 善貴 (日本ユニシス yoshitaka.aoki@unisys.co.jp)
- 篠崎 隆宏 (東工大 shinot@ip.titech.ac.jp)
- 東本 崇仁 (東京工芸大 t.tomoto@cs.t-tougei.ac.jp)
- 平野 靖 (山口大 yhirano@yamaguchi-u.ac.jp)
- 宇田川 佳久 (東京工芸大 udagawa@cs.t-kougei.ac.jp)
- 宮島 敬明 (JAXA miyajima.takaaki@jaxa.jp)
- 鈴木 大慈 (東工大 s-taiji@is.titech.ac.jp)
- 市野 将嗣 (電通大 ichino@inf.uec.ac.jp)
- 神原 誠之 (奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 田仲 正弘 (NICT mtnk@nict.go.jp)
- 河野 義広 (東京情報大 ykawano@rsch.tuis.ac.jp)
- 上原 稔 (東洋大 uehara@toyo.jp)